

地域と学校が協働しておこなう活動 地域の応援団

●2016（平成28）年に同一敷地施設一体型の能勢小学校・能勢中学校が開校して7年。今年4月から1つの学校「義務教育学校 能勢町立能勢ささゆり学園」になり、記念すべき初めてのフェスタが開催できたことに関係者一同、大変喜んでおります。

●7年前、新学校が創設され、国のコミュニティ・スクール導入促進事業を受けて「地域とともにある学校づくり」のスタートが切られました。もともと能勢の学校は「地域とともに歩む学校」として各旧小中学校の同窓会・PTA・学校協議会、旧中学校区地域教育協議会等、各種団体が町の子どもたちの応援団として学校支援活動を長年精力的に続けてこられました。

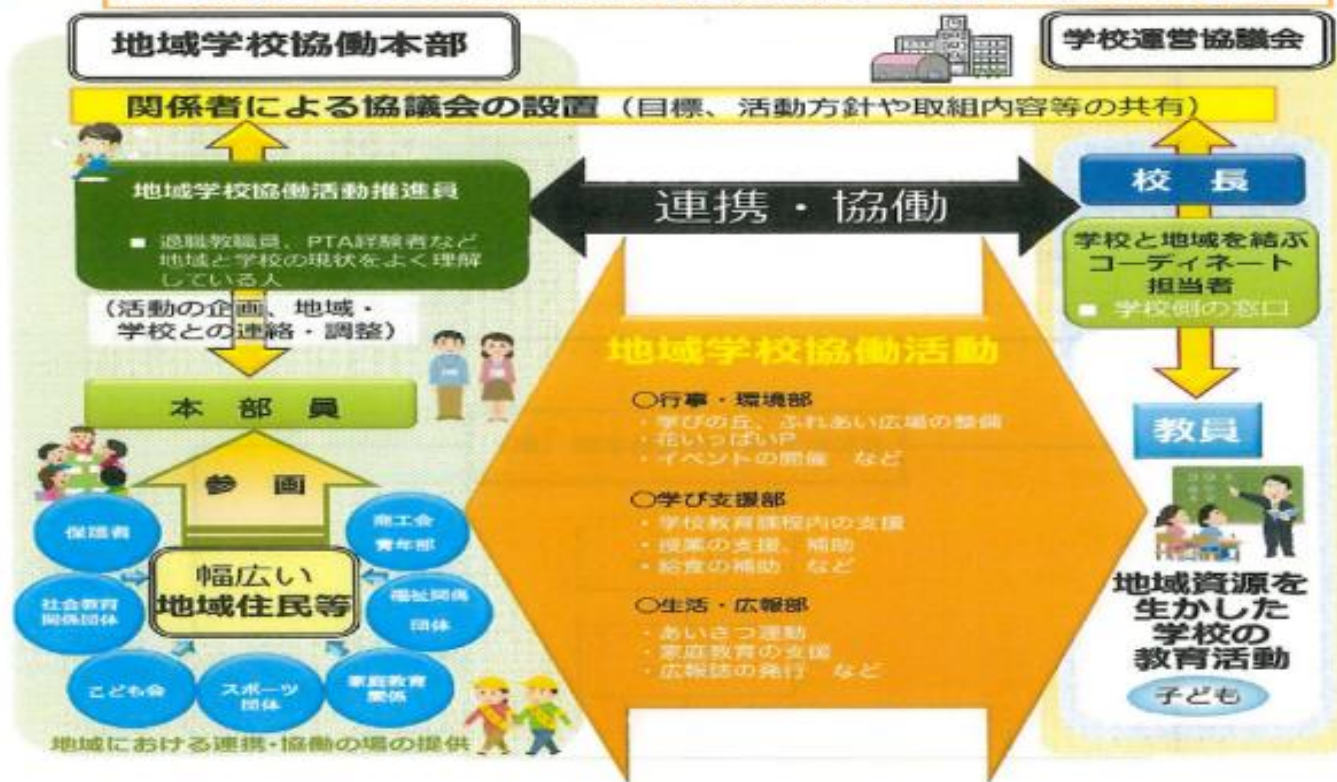


能勢町地域学校協働本部（ささゆりネット）

「支援」から「連携・協働」へ

地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもたちの成長を支えることを目的とした「地域の応援団」

趣旨 地域と学校が連携・協働する仕組みづくりを促進し、子どもたちを支えるだけでなく、地域住民の生涯学習・自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る。



●学校再編後、地域と学校のバランスが変わっていく中、従来各小学校区でご活躍されていた方々が「学校運営協議会委員」となって、創設期の学校支援活動を盛り上げてくださいました。

●「地域とともにある学校」をめざし、2018（平成30）年、正式にコミュニティ・スクールとなり、2020（令和2）年、町内各種団体による能勢町地域学校協働本部（ささゆりネット）が発足しました。